

週間漁海況情報—第28号

平成23年7月11日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H23.7.11）を示した。

黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。

室戸岬以西では、都井岬沖、足摺岬沖でやや離岸している。

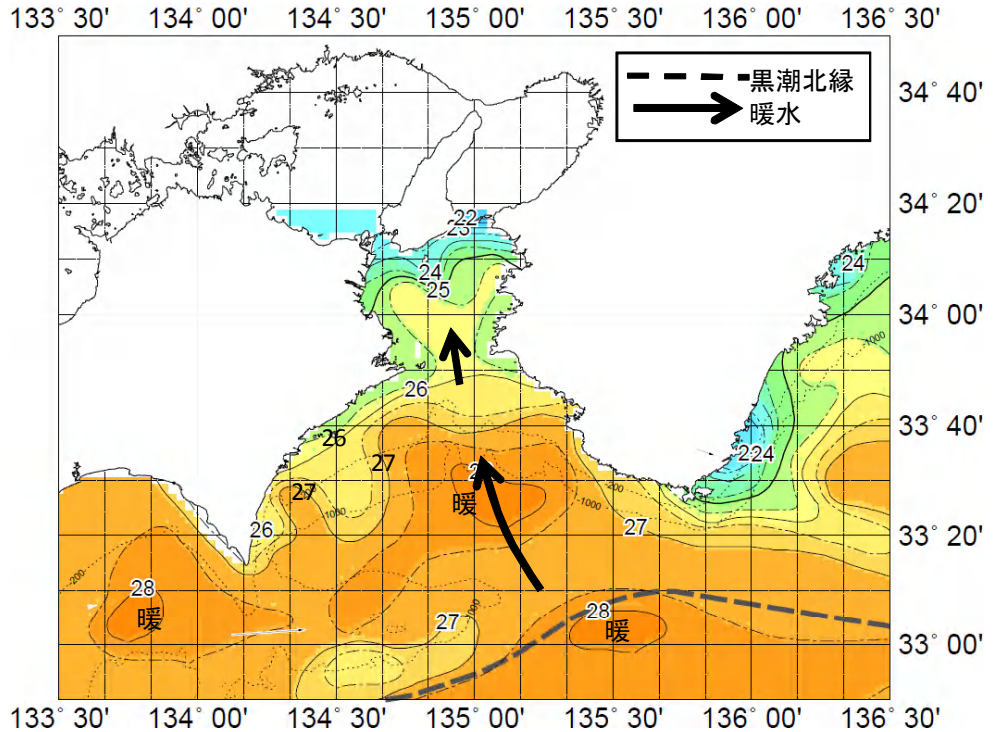
黒潮本流の表面水温は、27～28℃台である。

徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で22℃台、紀伊水道で23～25℃台、海部沿岸で25～27℃台である。

黒潮系暖水が、紀伊水道外域の広範囲でゆるやかに流入しており、その先端は紀伊水道内に到達している。なお、海部沿岸の岸寄りには、内海系水由来とみられる比較的水温の低い海水に覆われている。

また、漁業調査船「とくしま」によると、7月11日現在、海部沿岸上灘で下り潮になっている。

漁業調査船「とくしま」が7月7日に行った播磨灘海区の海洋観測では、水温は全層で「平年並み」の19.6～23.4℃であった。



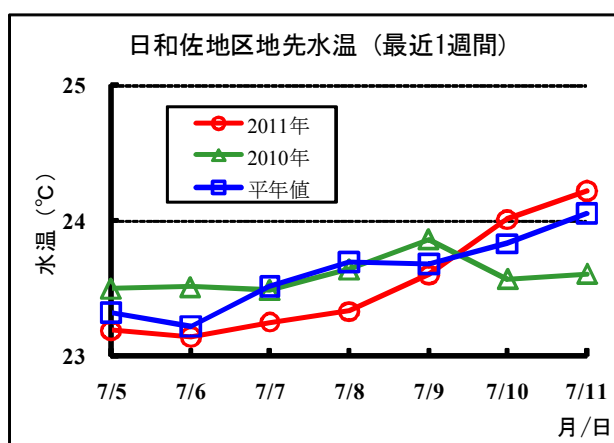
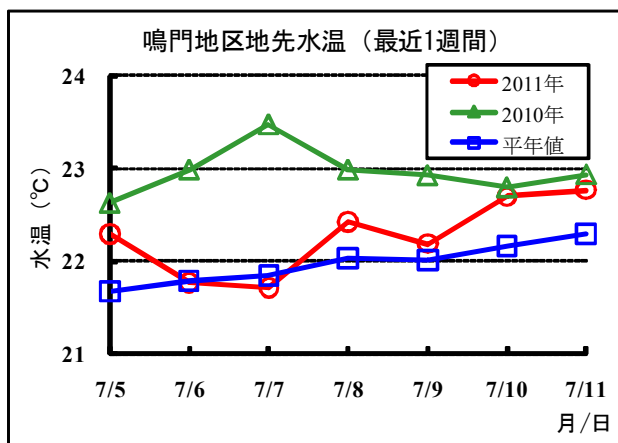
播磨灘海区観測結果

観測日		水 温				塩 分			
		表層	10m	20m	30m	表層	10m	20m	30m
7/7	今年値	23.4	21.3	20.5	19.6	31.1	31.5	31.5	31.7
	平年偏差	0.2	-0.1	-0.3	-0.3	-0.6	-0.4	-0.6	-0.5
	前年偏差	0.3	-0.4	-0.4	1.2	0.3	0.2	0.2	-0.3

地先水温 最近約1週間の地先水温は、鳴門地区で「平年並み」～「やや高め」の21.7～22.8℃、日和佐地区で「平年並み」の23.1～24.2℃、牟岐地区は「低め」～「やや高め」の21.4～24.5℃で推移した。

* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上



2. 海況の経過

小型定置網：海部沿岸で、ウルメイワシが0.4トン（1日1隻当たり13kg）、カタクチイワシが0.2トン（同19kg）、カマス類が0.3トン（同8kg）、ツバスが0.4トン（同34kg）、小小主体にマアジが6.7トン（同106kg）、サバ類が0.7トン（同44kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で、特大・大主体にイサキが1.0トン（同174kg）、イワシ類が14.1トン（同2.4トン）、小小主体にカマス類が0.3トン（同49kg）、小主体にケンサキイカが0.2トン（同35kg）、小主体にゴマサバが7.9トン（同1.3トン）、小主体にシイラが2.4トン（同395kg）、小主体にマアジが5.6トン（同939kg）、中主体にマルアジが0.5トン（同78kg）、マルソウダが0.4トン（同63kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道でシラスが3.8トン（同42kg）水揚げされた。

漁業種別集計表（抜粋） 7月4日～7月10日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
小型定置網	海部沿岸	ウルメイワシ	29	365	13	
		カタクチイワシ	12	230	19	
		カマス類	40	303	8	
		ツバス	12	406	34	
		マアジ	63	6,691	106	小小主体
		サバ類	15	657	44	
大型定置網	海部沿岸	イサキ	6	1,042	174	特大・大主体
		イワシ類	6	14,134	2,356	
		カマス類	6	295	49	小小主体
		ケンサキイカ	6	211	35	小主体
		ゴマサバ	6	7,932	1,322	小主体
		シイラ	6	2,372	395	小主体
		マアジ	6	5,633	939	小主体
		マルアジ	6	470	78	中主体
		マルソウダ	6	375	63	
パッチ網	紀伊水道	シラス	90	3,750	42	

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」～「接岸」、潮岬沖で「接岸」～「やや離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先は「平年並み」～「やや高め」の22～23℃台、日和佐地先は「平年並み」の24～25℃台で推移する見込み。